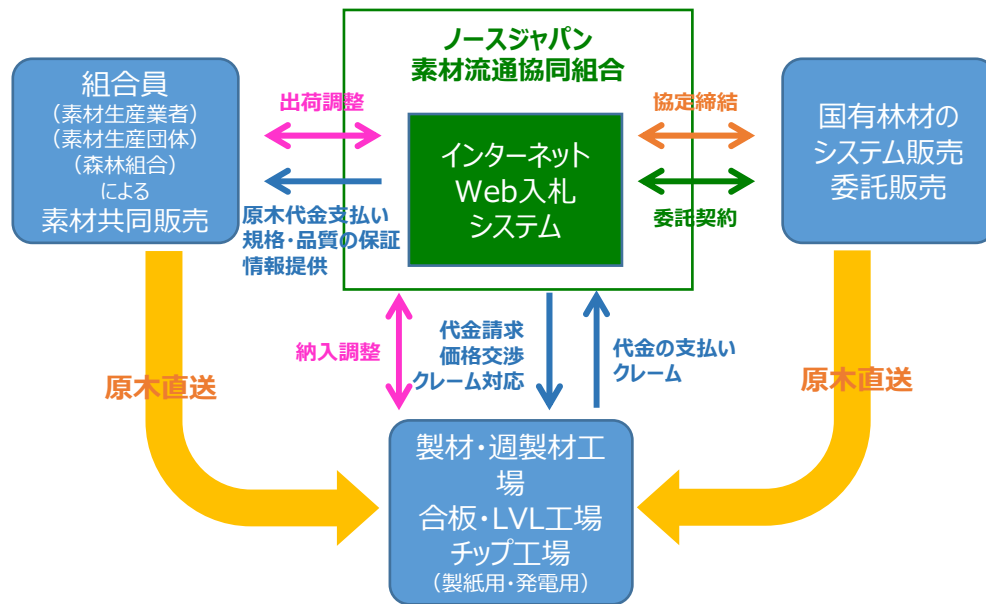


土場検知情報と需要をネットでマッチング：インターネット木材入札システム

事例の概要

- 2016年より、国有林を対象とした需要と供給のマッチングのため「ノースジャパン素材流通協同組合」の国有林web入札システムとして採用。
- スマートフォンによる検知システムで山土場で桧積を検知後、写真を撮影。
- 情報はインターネットによる入札システムに送られ、入札用の情報に整理後、会員が入札。
- 落札された丸太は会員に直送。
- 2019年度の素材(丸太)取扱量は、前年度より3万5,000m³増の、57万4,366m³。



素材（丸太）の流通フロー図



■一覧入力画面から物件写真の確認ができます。

Web入札システムの入札画面例
(入札マニュアルより)